

農業経済

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
農業経済（文部科学省）	2	2年(アグリビジネス科アグリマネージメント類型)

1 学習の到達目標

学習の到達目標	農業及び食品産業の経済活動に関する知識と技術を学び、流通及び市場の原理を理解させるとともに、流通の改善を図る能力と態度を学ぶ。
---------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法	
					①	②	③	④		
前期	4	・オリエンテーション	1	・シラバスの説明、授業の進め方、本科目の目標を理解する。	○	○		○	取り組み姿勢	
	5	・第一章 わが国の農業と世界の食料需給 ・農業と国民経済	4	・地域や日本の農業や食品産業について学び、農業の経済的な役割を理解する。	○	○		○	姿勢・ノート・プリント	
		・世界の食料需給	6	・世界の食料需給と農産物の貿易について学び、国際的な食料需給の動向が及ぼす影響について理解する。	○	○	○	○	姿勢・ノート・調査の取り組み	
	6	前 期 中 間 考 査						○	定期考査	
		・農業と国際経済事情	6	・WTOが日本の農業や食品産業に与える影響や、食料の安全保障について理解する。	○	○		○	姿勢・ノート・プリント	
	7	・第2章 食料供給と農業および食品産業 ・農業生産の役割と特徴	10	・日本の農業生産の動向やフードシステムに関する知識を習得し。	○	○		○	姿勢・ノート・プリント	
	8	・食品産業の役割と特徴	6	・日本の食料消費の形態と動向及び食品産業に関する知識を学び、役割と特徴について理解する。	○	○	○	○	姿勢・ノート・調査の取り組み	
	9	前 期 期 末 考 査						○	定期考査	
	後期	10 11	・第3章 農産物の流通 ・市場の原理と価格の形成 ・農産物の需要と供給	2	・農産物市場の仕組みを理解し、市場の原理と価格形成について学ぶ。	○	○		○	姿勢・ノート・プリント
				4	・需要と供給の変動及び消費の弾力性について学ぶ。	○	○		○	姿勢・ノート・プリント
後期	10 11	・流通の構造と機能	11	・流通機能や流通経路など流通の仕組みに関する知識を学び、主体的に調査し、まとめる。	○	○	○	○	姿勢・ノート・調査の取り組み	
		後 期 中 間 考 査						○	定期考査	
	12	・第4章 農業生産資材の流通 ・農業生産資材の市場	2	・農業生産資材の規模と価格形成について学び、生産資材が農業経営に及ぼす割合を考察する。	○	○	○	○	姿勢・ノート・調査の取り組み	
		・おもな生産資材の流通	4	・おもな農業生産資材の具体的な流通、価格形成について学ぶ。	○	○		○	姿勢・ノート・プリント	
	1	・農業機械 ・持続可能な農業生産と生産資材の循環的利用	2	・農業機械の流通と価格形成について学ぶ。	○	○		○	姿勢・ノート・プリント	
		4	・エネルギーの循環を理解し、環境に配慮した生産資材の削減を目指すための取り組みを考察する。	○	○	○	○	姿勢・ノート・調査の取り組み		

2	・北海道農業の統計考察	4	・北海道農業の統計を調査し、課題や展望などを考察する。	○	○	○	姿勢・ノート・プリント
後 期 期 末 考 査						○	定期考査

3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技 能	④知識・理解
内 容	農業の経営と食品産業の役割や、農業経済の現状と課題について主体的に学ぶ。	今日の農業経済において、課題に対し結果・考察することで自分の考えを持っている。	農業経済について実際の・体験的な調査や実習が出来る。	農業経済に関する基礎的・基本的な知識を身に付け農業経済の意義や役割を理解している。
割 合	20%(点)	10%(点)	10%(点)	60%(点)

評価について

学年末評定について

4 履修にあたっての注意事項

- (1) 授業にあたっては筆記用具、教科書、ファイル、ノートを必ず持参する。
- (2) プリントやノートは半期ごとに必ず提出すること。
- (3) 農場の状況により実習を行う場合もあるので連絡をしっかりと聞く。
- (4) 危険を伴う作業をする事もあるため、指示をよく聞き、指示に従い真面目に取り組むこと。

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

評価	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0